

親権者の方へ

「車いすスポーツ動作中の上肢関節運動に関する研究」 について

○ 研究の意義・目的

今回、2種類の車いすを使用しそれぞれの車椅子での駆動動作と、立位と車いす座位でオーバーヘッドストロークやアーチェリーのドロ잉（弓を引く動作）時の上肢・体幹運動を測定し、車いす競技で上肢の傷害が好発する原因を考えるための研究を立案しました。車いすスポーツでは立位で行うスポーツより肩、肘、手首などに傷害を発生しやすいことが言われております。特にアーチェリーでは立位でも車いす座位でも肩に傷害を生じやすいものの、バドミントンやテニスなどと比較して研究が十分に実施されていない現状があります。

そこで、本研究では、肩関節の傷害を生じやすく、車いす座位でも実施されるスポーツとして、陸上、テニス、バドミントン、ラグビー、バスケットボール、アーチェリー経験者を対象に動作解析と、超音波画像診断装置（エコー）による関節内の運動を解析し、肩の傷害予防に役立てたいと考えております。

○ 研究対象者

●この研究に参加いただける方（以下の基準をすべて満たす方）

- ①同意取得時に16歳から30歳までの男女
- ②上肢、下肢、体幹のいずれにも整形外科的疾患を有さず立位保持が可能な方、または上肢に整形外科的疾患を有さない立位保持が不可能な方
- ③本研究の参加に関して書面にて同意が得られる方
- ④同意取得時に健常者、車いす利用者を問わずバスケットボール、ラグビー、バドミントン、テニス、陸上、アーチェリーのいずれかを1年以上継続している方

●この研究に参加できない方（以下のいずれかに該当する方）

- ①研究担当者が不適切と判断した方
- ②研究担当者と利害関係がある方
- ③未成年者で親権者の同意を得られない方
- ④その他、研究担当者が本研究を実施するのに不相当と認めた方

※ この書類は、研究参加への拒否の機会を提供するためにお渡しさせていただいております。本研究の参加に同意いただけない場合は拒否していただいても構いません。拒否することであなたやあなたのお子様に不利益が生じることは絶対にありません。また、本研究のご参加に同意いただいた後や研究参加中でも参加を取りやめることができます。

○ 研究方法

本研究では、研究対象者④の項目にある競技の経験者を対象に、2種類の車いす駆動動作と、競技特有の動作を3次元動作解析装置とエコーによる測定を実施いたします。測定には最大で90分程度のお時間を要します。但し、対象者がラグビー、バスケットボール、陸上経験者である場合、測定時間は60

分程度となります。上記の3競技以外の経験者で立位が取れない方は、立位の測定を行わないため測定時間は約75分となります。

対象者の基本情報（年齢、身長、体重、学年など）についてお聞きしますが、研究活動以外では使用しません。得られたデータは、鍵のついた場所で保管します（個人情報管理者：有馬知志）。

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科 スポーツリハビリテーション学研究室 助教 有馬知志

○ 研究期間 許可日～2029年3月31日

利用開始予定日：2022年8月2日（実施許可日）以降

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

また、この研究で使用したデータ等は、将来この研究とは別の研究に利用させていただく可能性があります。これを二次利用といいます。二次利用する際は別途倫理審査委員会で承認後、研究機関の長の許可を得てから使用します。将来の研究に使用した場合は、本学のホームページ

（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開）

<https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx>へその情報を掲載し、拒否の機会を保障します。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

.....
お問い合わせ先
〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3
Tel：082-257-5425
広島大学大学院医系科学研究科 スポーツリハビリテーション学研究室
助教 有馬知志（研究責任者）satoshi-arima4646@hiroshima-u.ac.jp
大学院生 田村佑樹（研究担当者）yuki-tamura@hiroshima-u.ac.jp
.....